



徳成寺 寺とまかわら片版 第126号 2017年6月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

この度、総代さんたちの発案により、本堂・納骨堂のいす席を

一新致しました。従来の低い椅子では、座りにくいという声が徐々に

出始めており、お寺の永代経法要や報恩講の折に難儀している方を、

よく目に止めて頂いて協議した結果です。門徒会からの支援により

従来以上にお参りし易い徳成寺に生まれ変わりました。まだまだ改善の余地が

あるとご指摘を頂いております。言われてみれば、仏様に向かって読経している

最中をはじめとして、私たちだけでは見えない問題がたくさんあります。

ただ、こうした声に真摯に耳を傾け、みんなのお寺・徳成寺を築き上げていく

ヤル気は満々でございます。精一杯応えて参ります。どうぞお気づきの

点がございましたら、遠慮なくお寄せ下さい。

*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

発行者
住職
大山健児
坊主
大山ひとみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

どうも、長男です。

5月と言えば、私の誕生月です。誕生月は絶対に美味しいものを食べると決めており、普段大量のご飯を自炊して一週間単位で消費をするか、ファーストフードで切り詰めた食費で、ある休みの日に高級ランチをお酒と一緒に楽しむのが例年の過ごし方になってます。前年は天ぷら、今年はうなぎにしました。都内の名店といえば、色川、野田岩等々、高いところを言えば枚挙に暇がありませんが、お腹いっぱい鰻を食べたいとなると有名店は厳しいです。そんな中、浜松産の鰻を丼980円で提供しているという危険な情報を手に入れたので、神田西口に店を構える「うな正」に行ってみました。

と、言うことで注文したのがうな丼ダブル。ご飯、うなぎ、ご飯うなぎでミルフィーユみたいになっている丼が到着。うなぎはふっくらふわふわ。スーパーで買うのと同じくらいの値段なのに、別物でした。東京にお越しの際は是非に。

